

平成18年12月12日（火）

○議長（上田順康君）順番11、25番 岡勲君。

〔25番（岡 勲君）登壇〕

○25番（岡 勲君）通告に従い一般質問を行います。私の質問1と2については、旧高野口町から橋本市へ引き継がれた問題でありまして、春3月、合併をいたしまして10カ月、旧高野口町より橋本市に引き継がれたこの問題が正しく引き継がれていくのか、それともまた目的を変えて利用していくのかという1点と、2番につきましては方向性を示していただきたいという思いで質問をいたします。

1の件につきましては、平成15年7月に臨時議会に上程をされた補正予算案でございます。少し平成15年に振り返っていきたく、このように思います。一般会計補正予算案8億9,320万4,000円と高野口町の土地開発公社の用地先行取得に関する債務保証行為の予算9億765万3,000円でございます。生活関連法案と債務保証行為が分けられず一括提案をされたものでございます。この中には広域ごみ周辺整備用地代も入っております。この予算の中でございますが、整備用地代とほか7件の先行取得用地代ということでございます。

私の質問は、その中の一つでございます保育所建設用地4,345㎡、単価にいたしまして、安いんですが8,631円だと思えます。合計3,750万円で先行した用地であります。この用地につきましては、私は保育所の建設は無理であるということで、最後までこの債務保証について反対をいたしました。この保育所建設予定の用地は、現物を見られた方もわかると思えますが、ジグザグに入り組んでおりまして、またその中に水道の水源地が地続きであります。こんな悪条件のもとに

保育所などの建設は到底無理であります。現在は大型バスの車庫と倉庫、そして土砂の捨て場所になっております。用地の一部はありんこの会の活動場所に提供しているというのが実情でございます。こういうことでございますので、先行取得をした土地の利用について、新橋本市といたしまして、どのように今後活用していくのかをお聞きしたいと、このように思っております。

2番目の高野口町向島25番地に建っている市の災害住宅の取り扱いについてでございますが、質問書にも書いてあるとおり、昭和29年頃から災害によって建設された災害住宅でございます。この建物については駐在所の警察官の官舎になっていたことがございまして、その方が昭和40年頃に出られてからずっと三十数年、40年近く空き家になっておりまして、いまだ放置したままでございまして、この問題につきましては、私に付近の住民から何とかしてくれよというお話がございまして、平成15年の後半ぐらいから旧高野口町との話し合いを持ったわけでございます。

その間に地籍の調査が始まりまして、向島25番地あたりについては平成17年度に地籍の調査が完成するので、それまで待ってくれよという話し合いでございまして、何回か当局と話をしている中で、一応払い下げということになりまして、近辺には9軒建っておりますが、現在は6軒の方が入っているんですか、ここは一つの土地に囲まれておりまして、表には道路がございまして、道がないところでございます。そういうことで、近辺の町内会長にも集まっていただきまして、この中に住まいをしております住民の方にも寄っていただき、その中でお話をさせていただ

きました。そうした中で、2軒の方がこの土地をお互いに半分ずつして買いたいよという回答が出まして、他の方については、もう私たちは辞退いたしますということで辞退をされて今日に至っておるわけでございます。

この春、合併した4月頃、この問題について前向きにスムーズに進みますようにということで、市長にも担当課にもお話をしているわけでございますが、いまだそれが手つかずということでございますので、この本会議において質問をさせていただきまして方向性を示してほしいなど、こういう思いで質問しております。2番については今後の市の方針をお聞かせいただきたいと思っております。

終わります。

○議長（上田順康君）25番 岡勲君の一般質問に対する答弁を求めます。

健康福祉部長。

〔健康福祉部長（上田敬二君）登壇〕

○健康福祉部長（上田敬二君）岡議員の質問にお答えいたします。

旧高野口町土地開発公社が先行した保育所建設用地につきましては、平成16年6月22日付で、地権者から土地開発公社への所有権移転登記が行われており、その土地利用につきましては、現在、幼保一元化担当のほうで、（仮称）高野口こども園建設用地として使用すべく計画を立てております。市としての全体構想について提示できるのは、20番議員にも答弁させていただいたとおり、来年の5月頃を予定しておりますが、（仮称）高野口こども園については、平成21年4月の開園をめざし、鋭意取り組んでまいりたいと考えております。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

○議長（上田順康君）建設部長。

〔建設部長（坂本信良君）登壇〕

○建設部長（坂本信良君）次に、災害住宅の

払い下げについてでございますが、高野口町向島25番地の災害住宅は、公営住宅法により建設された住宅で、建物の耐用年数は公営住宅法により定められており、耐用年数の2分の1を経過した場合、建て替え、用途廃止を行うことができます。したがって、耐用年数の基準上、用途廃止は可能となっているところでございます。今後の取り扱いについては、新市の市営住宅ストック総合活用計画の策定を早急に行い、これに基づき用途廃止の団地においては計画的な払い下げを検討してまいりたいと考えております。

○議長（上田順康君）25番 岡勲君、再質問ありますか。

岡勲君。

○25番（岡勲君）再質問をお願いしたいと思っております。幼稚園・保育所一元化において、この土地において、こども園の建設をしていくという答弁でございましたが、この土地は先ほど申し述べたとおりジグザグで、こういう建物が建てられるような地形にはなっていないと思うんですよ。こういうところにそういう建物を建てまして、あとはまた運動場も要るやろし、車の駐車場等々が要るわけでございます。そして、周囲の環境はといいますと、北側に国道24号、そして前には伏原・大野のバイパスが通っていると。そして南側には紀北川上農協の斎場があって、毎日のようにそこで式が行われているというような、環境・安心・安全面においても大変悪い条件ではないかと、このように思っております。そういうところで幼稚園・保育所の一元化、そしてこの中で子どもを保育していくというのは到底無理なことであると私は思っておりますが、この点につきましてお答えをいただきたいと思っております。

○議長（上田順康君）25番 岡勲君の再質問に対する答弁を求めます。

健康福祉部長。

○健康福祉部長（上田敬二君）岡議員おっしゃるように、土地の形状、図面を見せていただいたところ、確かにいびつで真四角ではない非常に使いにくい用地かなと、私は個人的にそういう感想を持っております。ただ、保育所用地として既に土地開発公社が取得し、そして新市に引き継いでおります。したがって、幼稚園・保育所用地として購入した以上は有効に活用したいと考えております。

ただ、施設建設にあたりまして支障があるとするれば、隣接に水源地等、市の公共用地もありますので、あわせて新しいこども園の建設ができるよう計画を進めていきたい、そう思っております。

○議長（上田順康君）25番 岡勲君。

○25番（岡 勲君）それと、あそこは大変交通量の激しいところなんでして、送迎車の車の出入り、そしてまた紀北川上農協の式場の車の出入り、こういうことがありますれば、非常に停滞をいたしまして、大変危険な場所ではないかと。西から東から送迎にやっまいります。そして左折右折をせねばそこへ入っていけないという状態でございます、その中での送迎車のスムーズな回転、運行、こういうことも考えていかなければいけない土地だと私は思っております。そういうところで、ここに建設すればまだまだ膨大な用地が必要ではないかと、このように思うわけでございます、そういうことに対して、今後用地の買収等々はお考えであるのかないのか。今の問題についてどのようにお考えか。

○議長（上田順康君）健康福祉部長。

○健康福祉部長（上田敬二君）今、岡議員のほうから送迎とか周辺道路、幹線道路になりますけれども、非常に交通量が多い、そういうご指摘をいただいたわけですが、この用地も含めて、具体的な施設の設計・調

査にはまだ全然かかっておりません。したがって、きょう、そういうご指摘をいただくのが初めての状況です。ご指摘いただいたことも十分含めて、周辺農家の環境の調査、そして、こども園の建設にあたって何が支障になるかということの一つ一つ検証し、検討を今後させていただいて、より良い計画づくりに努めていきたい、そう思っておりますので、ご理解賜りますようお願いいたします。

○議長（上田順康君）25番 岡勲君。

○25番（岡 勲君）それでは二つ目の質問に入っていきたいと思っております。

公営住宅法ということで、交付金の問題がありますが、2分の1の期間が終われば用途はもうこちらのほうで任せていただいて結構だということをお聞かせしていただいたのかなと思っております。用途の使用期間は過ぎておる関係上、橋本市のほうでこの建物については一存で解決というか、いろんなことをしていけるんだというお答えでございましたか。

○議長（上田順康君）建設部長。

○建設部長（坂本信良君）現地の向島住宅につきましては、私も現場を確認させていただいてございまして、建物につきましては非常に古いということで防災・防犯上も非常に問題があるということから、早急に建物については除却の必要性は感じてございます。

それから、土地の処分につきましては、先ほど答弁させていただきましたように、補助事業で建ててございまして、その辺の関係につきましては、9月の定例会でもたくさんの質問をいただいたわけですが、ストック活用計画で住宅の方向性が定まらなると処分するということは非常に難しいと。といいますのは、総合計画作成後、国の承認が必要ということになります。承認を受ければそれぞれの住宅の用途について決定が

されますので、向島住宅につきましては、一応今の高野口町から引き継いだ段階では用途廃止という位置づけになってございますし、また現地を見る限りでは、今後残し得る公営住宅ではないのかなというふうにも感じますので、その辺につきましては、ストック活用計画作成までの間、いろいろ調査、それから地元の意向というものを踏まえて準備をしまいたいというふうに考えております。

○議長（上田順康君）25番 岡勲君。

○25番（岡 勲君）今、お答えを聞かせていただきまして、だいたいわかったわけですが、付近の住民の方といたしましては、払い下げるというようなことから、先ほど壇上よりの質問の中で2軒の皆さんがここを何とか分けてほしいなということで覚悟を決めているというんですか、売買ということになれば、お金の問題がついて回るわけですが、そういう条件が整ったときに早く向こうへお返事をしてあげれば、これがまた一つ熱が冷めてしまうと、また難しい問題も起こってくるのかなと。

それで、地元の住民いわく、早くここを何とかしてもらわないと、もうかなわんのやと。古い家になりますと傾きもありまして、北側の家については家が古いので、屋根がコンクリのかわらで、それがユウが抜けてぼろぼろになってきて、雨とともに砂が隣の家へ飛ぶというような、傾いてひつついとるような状態であるんで、これを何とか早急にしてくれという話もあります。そこらの話を交えて、地元の皆さま方には12月議会が終わり1月早々にでもきちっとお話ししますよということも一定ありますので、1月早々には付近の住民の皆さんに今後の方針についてははっきりとしたご説明をお願いしたいなと。そういうことでお願いできますか。

○議長（上田順康君）建設部長。

○建設部長（坂本信良君）1月早々にというお話でございますけれども、市の考え方については、関係者の皆さま方にはお話をできるかと思えます。ただ、何月何日にどう払い下げをするかということにつきましては、ストック活用計画の策定の問題もございまして、策定の概ねのめどが立った段階で、また地元の皆さま方とどういうふうな形で今後進めていくかについて、再度話し合いの場を持たせていただければなというふうに思っております。

○議長（上田順康君）25番 岡勲君。

○25番（岡 勲君）それでは、新しい市の方針を住民の方にお話ができるということでございまして、きちとした方針だけをお伝え願えたら、付近住民も納得するのではないかと、このように思っておりますので、説明をよろしくお願ひしたいと思います。確約してくれますか。

○議長（上田順康君）建設部長。

○建設部長（坂本信良君）先ほどもお答えさせていただきましたのですが、できれば建物を除却する予算のめどが立った段階に話し合いの場が持てれば一番いいのかなというふうに思っておりますので、予算におきましては、まだはっきり確定はしてございせんけれども、3月議会で予算の確定がなされますので、そのときに予算がついておれば、そういう形での付近の皆さま方へのご説明の場をむしろこちらのほうからお願いしたいなというふうに思っております。

○議長（上田順康君）これをもって、25番 岡勲君の一般質問は終わりました。

この際、午後1時まで休憩いたします。

（午前11時50分 休憩）